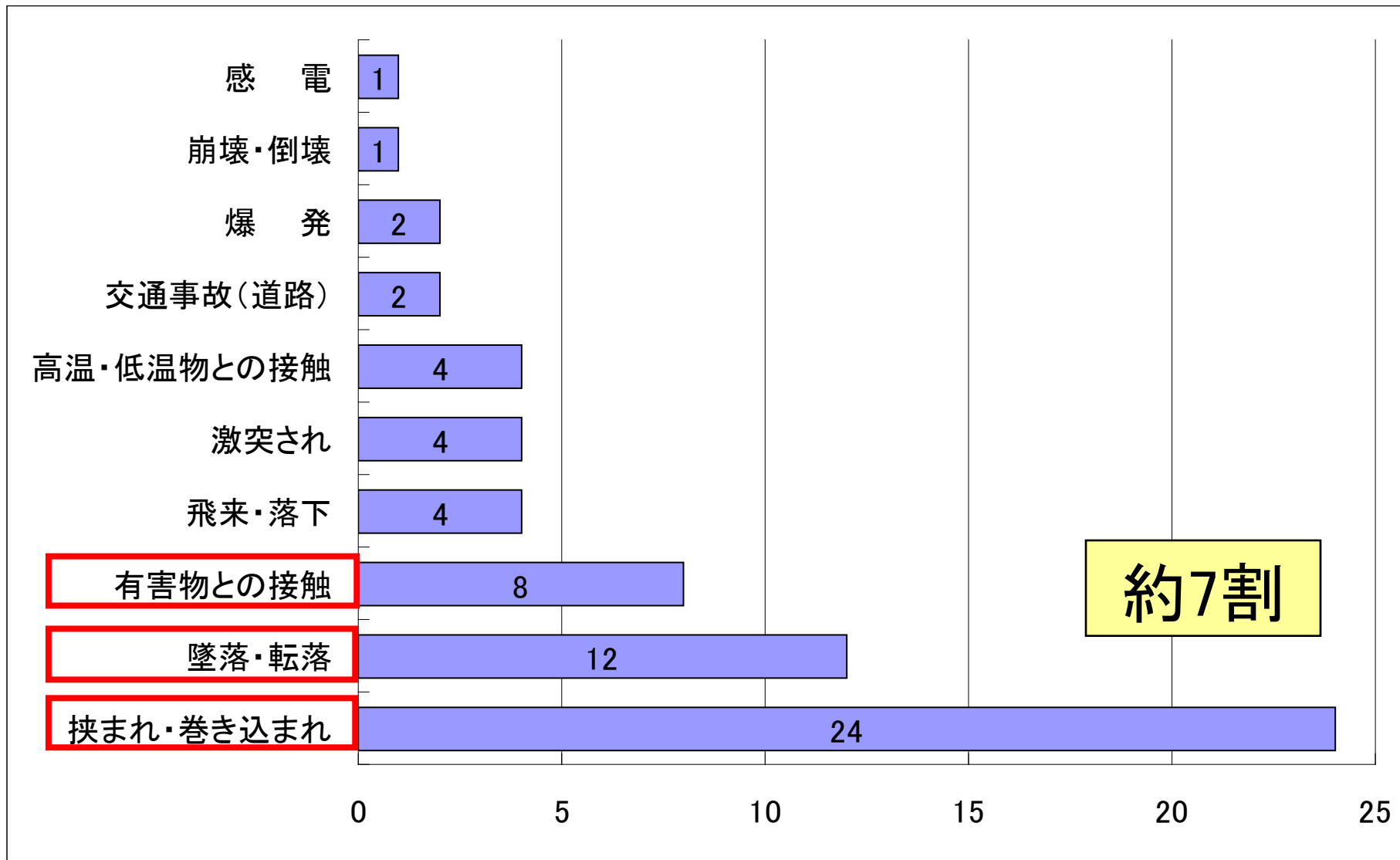


～鉄鋼業における一酸化炭素中毒防止対策～

西野委員提出資料

鉄鋼業界の型別重大(死亡)災害の分類

(平成15年～18年 鉄連データ)

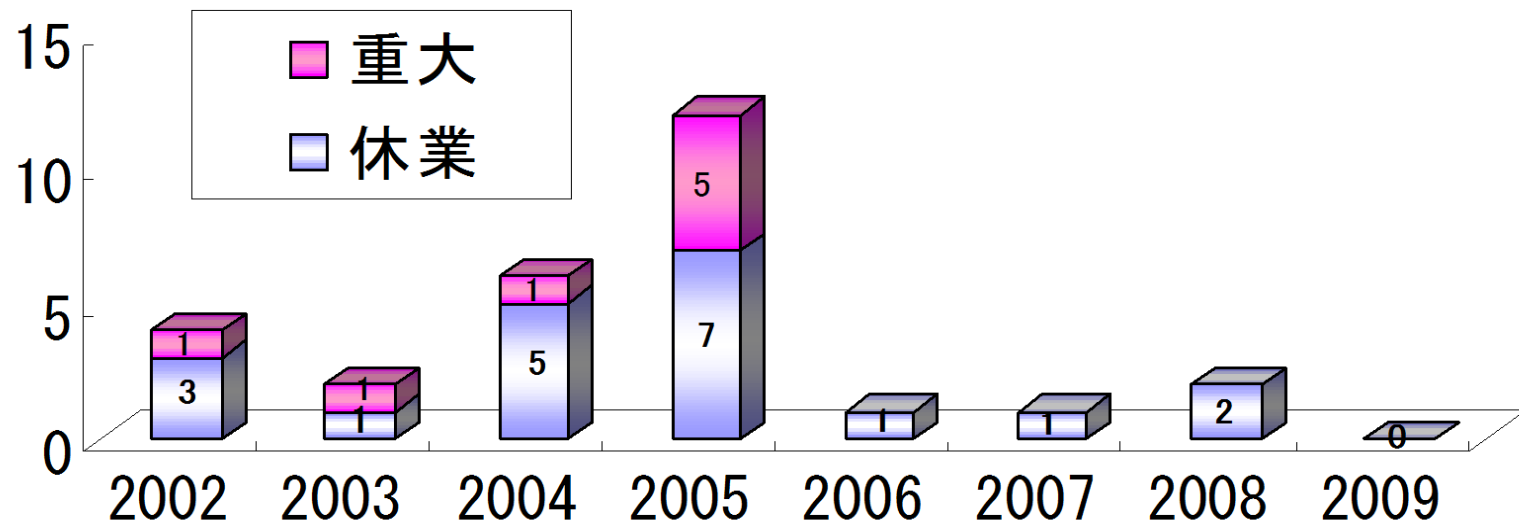


COガス中毒防止活動と災害発生状況

- 2005.12 鉄連のチェックリストによる緊急自主点検(1回目)
- 2006. 2 厚労省から行政指導 (→5月厚労省へ結果報告)
- 2006. 9 鉄連のフォローアップ一斉点検(→12月厚労省へ結果報告)
- 2009 次回調査予定 (繰上げの可能性あり)

推進本部から注意喚起の書面送付

鉄連加盟企業のCO中毒災害の発生状況



CO中毒防止に関する自主点検における『課題』の推移

鉄連会員会社39社・85事業所(1055職場)
8分野・25項目の延べ点検総数24,236項目

項 目	2005年12月 1回目自主点検の 抽出課題数(A)		2006年9月 フォローアップ調査 の抽出課題数(B)		改善率(%) (B-A)/A×100
	数	(%)	数	(%)	
1.設備等の特定	387	(12.6)	5	(0.2)	98.7
2.空気呼吸器	302	(5.9)	32	(0.6)	89.4
3.装着型検知警報器	504	(9.7)	4	(0.1)	99.2
4.定置型検知警報器	292	(8.6)	24	(0.7)	91.8
5.水封設備	178	(10.3)	19	(1.2)	89.3
6.作業手順等	642	(16.5)	9	(0.2)	98.6
7.安全衛生教育の実施	199	(18.9)	2	(0.2)	99
8.緊急時対応	190	(18.1)	6	(0.7)	96.8
計	2,694	(11.1)	101	(0.4)	96.3

()内は自主点検項目に対する『課題』の抽出比率%を示す。

一酸化炭素(CO)中毒防止の徹底について

ガス配管工事等、残存ガスのリスクが払拭できない段階での工事については、中毒防止に万全を期す観点から、下記の対応を指導

- 最初に開放する際は、完全に安全が確認されない限り
- ・呼吸用保護具を着用するとともに、
 - ・ガス検知器の着用、装備をすること